

八朔祭大造り物「仁王像」が大阪に

国立民族学博物館に展示

八朔祭の呼び物の大造り物が、国立民族学博物館（大阪府）に常設展示されました。日本の文化展新構築にあたり展示館の改装が行われ、3月22日オープニングセレモニーが開催され、工藤秀一町長や須藤健一館長らがテープカットを行いました。博物館のリニューアルに伴い、鳥根県出雲市の平田一式飾りや富山県高岡市の



国立民族学博物館

見立て細工と共に展示されています。開会式では、工藤町長が「八朔大造り物は、祭りのシンボルであり町の宝でもあります。この展示を機に、これまで以上に祭りに活かされ地域振興に繋がるように頑張っていきたい。」と挨拶しました。文化人類学・民俗学の研究活動とその成果を展示公開する活動を、一体的にこなす博物館を兼ね備えた研究所。世界の諸民族の社会と文化に関する最新の情報と知識を人々に提供し、異なる文化についての理解を深めることを目的として、1974年に「大阪万国博覧会」跡地に創設されました。

「守護神・仁王降臨」

今回の展示にあたっては、2009年同館の笹原亮二教授が八朔祭を見学し興味を持ち、その後、八朔祭実行委員会（中村紘二委員長）に展示を依頼されたものです。

展示にあたっては、下市連合組（田中勲代表）に協力を戴き、長期の展示に耐える材料の選別や展示スペースの関係で胴体を二分するなど、大変な苦勞がありました。

実際の展示にあたって、責任者の橋本浩彰さんは「大阪に二度も出張し、設置作業も大変でしたが、立派に展示できて満足です。機会があれば山都の皆さんにも見学して欲しいです。」と感慨ひとしお。展示責任者の笹原教授も、「民族学的価値のあるもので、搬送にも文化財としての配慮をし、無事展示が出てほっとしています。」と5メートルを越す巨大な造り物を前に語っていました。

町長室から 工藤 秀一

農村の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加、有害鳥獣被害など本町農業を取り巻く情勢は厳しいものがあります。

現在、国の農政は担い手へ施策を集中する方向に向かっていますが、本町のような中山間地という条件不利地域では担い手のみに施策を集中しても、地形的な理由から農地の集積や畑整備は難しい地域が多い実情があります。ですから、小規模農家による農業を大切にしていかなければならないと考えています。仮に小規模農家の離農を防げないということになれば、それによる集落機能の低下が集落全体の農業崩壊につながっていくことを危惧しているところです。

この対応として、集落を単位として共同で農業に従事する集落営農への取り組みが是非とも必要であり、組織化を積極的に進めることとしていきます。

地域の農業をよく知る小規模農家の存続が必要であり、本町においては担い手対策と集落を構成する小規模農家に配慮した施策を同時に進める必要があると考えているところです。

併せて集落営農のプランづくりの過程において、集落機能をどうやって守っていくのが課題です。

例えば用水路の管理は何世代が残らなければ守れないのか、Uターン・Iターン者の受け入れ体制の検討も必要です。更に空き家の活用などについて集落全体で話し合われ、可能な集落からこれらの村づくりにつながる集落協定が結ばれていくことを期待しています。

その上で、中山間地域等直接支払交付金制度や、農地・水保全管理支払交付金制度、環境保全型農業直接支援事業などの制度事業を有効活用していくことにしていきたいと考えています。

集落営農によって、この町を構成している各集落の先人たちが残してくれた大切な財産である土地とそこに住む人々の暮らしを守ること、このことを政策の柱として取り組むこととします。

自然の中で豊かに育つ子どもたち その40

矢部郷自然観察会 代表 藤吉 勇治

「冬なのに、もうカエルが卵は産んでいました。」と、驚いた様子で小学生が私に報告に来た。皆さんは、冬に産卵するカエルがいることをご存じだろうか。2月の始め、学校の池の中に産卵されたカエルの卵塊を、子どもたちが見つけたのだ。

カエルが産卵時期を間違えたのではなく、冬に産卵するカエルがいるのだ。山都町では、ニホンアカガエルやヤマアカガエルが冬眠の途中で田んぼの水溜まりや池にやって来て産卵する。産卵後は、再び落ち葉に潜り、春まで休眠する。

なぜアカガエルの仲間が冬に産卵するのか。様々な研究者の説があるが、一つには、冬の寒い時期は天敵となる動物が活動していないため、捕食される心配がなく、生き残る確立が高いからという理由がある。しかし、寒さが厳しいと凍結により死んでしまうリスクもある。写真は2月の始めに清和小学の池で撮影したニホンアカガエルの卵塊だが、池には氷が張っていた。



無事に孵化するか心配していたが、2月下旬にはオタマジャクシになっていた。その生命力の強さを感じると共に、遙か昔からこのような命の営みを続けていることに驚かされる。

春はすぐそこまで来ている。田んぼに水が入り、代掻きが始まると、他の種類のカエルたちが次々と田んぼに集まり産卵を始める。すると、田んぼ周辺の様々な生きものたちも活動を始める。田んぼはたくさん命に満ちあふれる。子どもたちと田んぼを訪れるのが楽しみだ。生きものたち命のエネルギーが、子どもたちにも活力を与えてくれるからだ。「春よ来い。早く来い。」



ニホンアカガエル

YOU&YOU通信 Vol.71

Vol.71

☆私たちがサポートします! ☆ 事務局紹介

「YOU&YOU」事務局吉田です。活動開始から8年目を迎え、成婚「26組」が誕生しました。婚活事業も8年目となると、YOU&YOUの知名度もアップし、登録の申込を自分でされる方が増えてきました。事務局として大変嬉しく思っています。

また、最近では20歳代からの若い男性・女性の登録希望が増えています。婚活の意識が変わってきているものと思います。これまで、何回もどうしよう...と考えていた方、ぜひこの機会に交流会に参加してみませんか? 結果はさておき、楽しい時間と一緒に楽しみましょう! そこから出会いにつながります。まずはお気軽に電話ください。お待ちしております!



(吉田) (成瀬)

同じく事務局の成瀬です。担当をさせていただいて6年目になります。毎月の交流会で、様々な出会いの中でカップルが誕生しています。

そして、二人だけの新しい時間が始まります。これまで結婚されたカップルを見ると、「二人の幸せ」が周りのご家族、そして地元地域の幸せとなり、山都町の一つの小さな活力となつているように感じます。YOU&YOUを出会いのための一つのきっかけにしたいです。若い世代からの参加も大歓迎です。これからの参加者の方々の声を聞きながら、お手伝いさせていただきます。よろしくお願いたします。

YOU&YOU3月交流会紹介

今回は、桜がちょうど見頃の3月中旬に山鹿市にある「水辺プラザかもと」に出掛けました。



3月交流会の様子

今回のために、申し込みいただいた女性参加者20代後半〜40歳代までの幅広い年齢層で、男女合わせて19名で行いました。久しぶりの大人数での交流会で、男性陣と事務局も強い期待感の中始まりました。

会場では、最初にバイキングランチで食事とともに会話を楽しみました。その後、グループに分かれてのピザ作り体験。手馴れた様子の女性、逆にそうではない女性の姿に男性陣も優しくサポートしました。春は出会いの季節です。新たな出会いのための一歩をYOU&YOUから始めてみませんか。

●問い合わせ先

YOU&YOU事務局 (役場 総務課) 成瀬・吉田
【専用電話】090-195651-9589
【専用アドレス】marriage.support@town.kumamoto-yamato.jp
【専用アドレス携帯】you_and_you@docomo.ne.jp